

～令和3年度～

# 青少年のネット利用実態調査結果

令和4年3月

大分県生活環境部私学振興・青少年課

大分県教育庁学校安全・安心支援課

# 目 次

○ 令和3年度「青少年のネット利用実態調査」結果について	.....	P 1
○ 別紙		
1 青少年のインターネット利用機器・利用率	.....	P 5
2 スマートフォンの利用について	.....	P 6
3 青少年のインターネット利用内容	.....	P 7
4 青少年のインターネット利用時間	.....	P 10
5 青少年のインターネット利用による生活の変化	.....	P 12
6 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談	.....	P 14
7 フィルタリングの利用状況等	.....	P 20
8 家庭でのルール	.....	P 21

# 令和3年度「青少年のネット利用実態調査」結果について

## 1 調査目的

近年、青少年の周囲にも普遍的にインターネットが普及することにより利便性が高まる反面、インターネットに係るトラブルや事件に巻き込まれる問題が発生しており、ネット依存など生活習慣への影響も危惧されている。

これらを未然に防止し、かつ青少年の情報活用能力を高めるためには、インターネット利用状況や活用方法、トラブル事例などに加え、保護者の認知状況などの実態を把握したうえで今後の施策に反映することが重要であるため、子どもの利用実態や保護者の意識等を調査する。

## 2 調査対象

調査は、県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒 1,500 人とその保護者 1,500 人の計 3,000 人を対象に行った。対象の学校は、地域に偏りがないよう抽出した。

今年度の調査票の配布数と回収率は表のとおり。

(表 調査票の配布数と回収率)

		小学2年	回収率	小学5年	回収率	小学生	回収率	中学2年	回収率	高校1年	回収率	総数	回収率
児童生徒	配布数 回答数	258人 258人	100.0%	251人 248人	98.8%	509人 506人	99.4%	501人 454人	90.6%	503人 494人	98.2%	1,513人 1,454人	96.1%
保護者	配布数 回答数					509人 432人	84.9%	501人 406人	81.0%	503人 452人	89.9%	1,513人 1,290人	85.3%

## 3 調査方法

対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票（小学生・中高校生・保護者の3種類）を作成し、紙面による調査を行った。

## 4 調査時期

令和3年10月

## 5 調査内容

調査は主に大きく分けて以下のような項目で行った。

- (1) インターネットを利用する機器、内容、環境
- (2) インターネット利用による生活の変化
- (3) インターネット利用時のトラブル等と相談
- (4) フィルタリングの利用状況と家庭のルール
- (5) 保護者自身のインターネット利用に関すること

## 6 調査結果の概要（調査結果の数値は「別紙」のとおり）

- (1) 青少年のインターネット利用機器・利用率
  - 全体で9割以上の子どもたちがインターネットを利用している。
  - 利用機器は、小学生・中学生ではゲーム機が最も多く、高校生ではスマートフォンが最も多い。
  - 小学生も半数がスマートフォンを利用している。
  - 保護者は、ほぼ全員の子どもがインターネットを利用していると認識している。
- (2) 青少年のスマートフォンの利用について
  - 年齢があがるにつれ、自分専用のスマートフォンを利用（中学生では48.3%、高校生ではほぼ全員）している。
  - スマートフォンの利用開始時期は、小学生以前から利用している中学生が55.0%、中学生以前から利用している高校生が66.6%であった。
  - 前年調査と比べて、自分専用のスマートフォンを利用している中学生が大きく減少（R2：71.7%⇒R3：48.3%）している。
- (3) 青少年のインターネット利用内容
  - インターネット利用内容は、小学生では、「ゲーム」「動画視聴」「音楽視聴」の順に、中学生

では、「動画視聴」「情報検索」「ゲーム」の順に、高校生では、「動画視聴」「SNS」「情報検索」の順に多くなっている。

- 年齢層が上がるにつれ、「SNS」の利用率が顕著に増加している。
- 中学生・高校生の半数近くが、「ビデオ通話やWeb会議などでのリアルタイムのやりとり」を利用している。
- 利用しているソーシャルメディアは、中学生では昨年度同様に「YouTube」「LINE」「Tic Tok」の順に多く、高校生でも昨年度同様に「LINE」「YouTube」「Instagram」の順に多くなっている。
- 高校生は、中学生と比較して、「Instagram」「SNOW」「Twitter」「Zenly」の利用が大きく増えており、「BoxFresh・Peing等匿名質問アプリ」も5人に1人は利用している。
- スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに「分からないことを調べる、情報収集」「家族や友達との連絡手段」「趣味を楽しむ」「家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ」が上位であり、「暇つぶし」で利用している生徒も6割程度いる。
- SNS利用時、中学生の約7割、高校生の約9割が、「他人の悪口を書いたり侮辱しない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」等に気をつけている。
- SNS利用時、「特に気をつけていない」という子どももいる。

#### (4) 青少年のインターネット利用時間

- 平日に2時間以上ネットを利用しているのは、小学生32.9%、中学生46.4%、高校生61.0%であり、小学生は増加、中学生と高校生は減少している。
- 小学生は、昨年度に比べ「使わない・30分未満」が減少し、「30分～1時間未満」以上の項目が増加しており、長時間化が顕著である。（子ども回答）
- 中学生と高校生は、昨年度に比べ、3時間以上の利用が減少に転じ、利用時間の減少傾向が見られる。（子ども回答）
- 保護者が把握している利用時間と実際の子どもの利用時間に差が見られ、2時間以上の利用では、小学生で11.2ポイント、中学生で11.4ポイント、高校生で6.6ポイントの差がある。（保護者の把握している時間の方が少ない。）

#### (5) 青少年のインターネット利用による生活の変化

- 子どもと保護者を比較すると、子どもの方がインターネット利用により「友人関係が良好になった」「友達が増えた」「分からないことを自分で調べるようになった」などと良い（プラス）傾向を示す回答が多い。
- 「使いすぎ・依存の傾向がある」と回答したのは、中学生が21.3%、高校生が36.8%で、保護者のうち小学生が39.8%、中学生が36.1%、高校生が41.8%で、保護者の方がインターネット利用時間について課題意識を持っている。
- インターネット利用により、「生活は特に変わりはない」が昨年度に比べ、子どもと保護者ともに減少し、インターネット利用が生活に変化をもたらしている。

#### (6) 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談

- 子ども・保護者ともに、約9割がトラブルの経験はないと回答しているが、保護者の方がその割合は多い。
- トラブルの内容のうち、子どもは、「悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ」、「SNSなどやりとりで嫌な思いをした」が多い。
- 小学生は、昨年度に比べトラブルが増加（昨年度：トラブルの経験はない89%）している。
- ネット利用時の相談先については、家族や友人が多い。
- 「消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察」、「質問・相談サイト」は前年度ともに0%であったが、今年度は相談先として利用が見られる。
- 「トラブルはあるが誰にも相談しなかった」子どもが全体で23.1%いる。
- 相談しなかった理由は、全体では「自己解決した」が最も多い。
- 中学生では、「相談するのが恥ずかしかった」も同数であり、隠したがる傾向も見られる。
- 約3割の子どもが「解決していない」「分からない」と回答しており、トラブルの解決には至っていない。
- 「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」子どもは、中学生32.4%、高校生52.8%であった。（子ども回答）
- 「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生3.1%（14人）、高校生5.3%（26人）、「異性に会った」が0.9%（4人）、高校生2.2%（11人）であったが、「会

ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生 6.9% (31 人) 高校生 6.1% (30 人) にのぼった。(子ども回答)

- 会ったことがない人とやりとりすることについて、「会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う」が、中学生 58.8%、高校生 64.6%で、約 60%の子どもがリスク管理出来ている。一方で、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生 6.6%、高校生 7.9%と少なからず回答している。(子ども回答)
  - また、「会ったことがない人と、ネットでやり取りしたり、実際に会うのは危険があると思う」と感じる割合は、子どもに比べて保護者が著しく高い。
  - 「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、「送ったことがある」は中学生・高校生ともに 0 人であった(子ども回答)が、同じ問いに保護者は、中学生 4 人、高校生 1 人の合計 5 人が「送ったことがある」と回答している。また、小学生の保護者も、4 人が「送ったことがある」と回答している。
  - 「写真を要求されたことはあるが送っていない」子どもは、中学生 11 人、高校生 15 人の合計 26 人いるが、認識している保護者は合わせて 3 人と極めて少ない。
  - いわゆる「自画撮り」によりその後性的被害に遭うなどの事件に巻き込まれることを知っているかについて、昨年度に比べて「知っている」割合は増加(昨年度:66.6%)しているものの、中学生は 34.4%、高校生は 11.5%が「知らない」と回答しており、「自画撮り」被害やその後性的被害に遭う危険性を認識していない子どももいる。
  - 保護者でも、10%程度が自画撮りによる性的被害を認識していない。
- (7) フィルタリングの利用状況等
- フィルタリングを利用しているのは、全体で 47.6%であり、令和 2 年度調査から 2.9 ポイント減少している。
  - 使用するフィルタリングは、携帯電話事業者が提供するものが一番多く、アプリ対応のものが続いている。
  - 保護者の「子どものネット利用で気をつけていること」は、「家庭でルールを設ける」67.1%で一番多く、続いて、「子どもの使い方に関心を持つ」が 57.9%、「子どもの使い方を明細(金額・時間)や閲覧履歴で把握」が 50.3%であった。
  - 「特に気をつけていることはない」保護者が 3.9%いる。
- (8) 家庭でのルール
- 家庭でのルールについて、「ルールあり」と回答した保護者、子どもはともに昨年度より増加している。
  - しかし、「ルールあり」と回答した保護者は 75.2%いるものの、子どもは 63.0%にとどまり、保護者と子どもの「ルールあり」の差は 12.2 ポイントあり、認識が異なっている。
  - 「家庭でのルールがない」と回答した割合は、子ども、保護者とも昨年と比較して増えている。特に、高校生が増加しており、半数以上が「家庭でのルールがない」と回答している。
  - ルールの内容は「利用する時間」が保護者・子どもともに最も多く、「利用する内容」が続いている。
  - ルールが守られているかについては、子どもの 54.9%、保護者の 41.4%が「守られている」と回答し、昨年度に比べ子どもは微増しているが、保護者は微減となっている。
  - 「あまり守られていない」、「ほとんど守られていない」と回答している保護者も 18.5%いる。
  - 保護者が「ルールを決めていない」理由としては、半数近い 48.2%が、「子どもに任せておいて大丈夫」をあげており、続いて 34.1%が「ルールを作っても守らない」と回答している。

～参考～

青少年の健全な育成に関する条例（昭和41年大分県条例第40号）【抜粋】

**（青少年のインターネット接続機器利用に係る保護者等の責務）**

第22条 保護者は、青少年有害情報フィルタリングソフトウェア又は青少年有害情報フィルタリングサービスの利用により、インターネットと接続する機能を有する機器を適切に管理し、青少年が当該機器を使用して青少年有害情報を閲覧し、又は視聴することがないように努めるとともに、青少年がインターネットを利用して違法な行為をし、又は自己若しくは他人に対し有害な行為をすることを防ぐため、青少年のインターネットの利用を適切に管理するように努めなければならない。

- 2 保護者は、家庭、地域その他の場において、インターネットの利用に関する青少年の健全な判断能力の育成を図るため、自らもインターネットの利用に伴う危険性及び過度の利用による弊害についての理解並びにこれらの除去に必要な知識の習得に努めるとともに、これらを踏まえて青少年とともにインターネットの利用に当たり遵守すべき事項を定めるなど適切な利用の確保に努めるものとする。

**（児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止）**

第37条の2 何人も、青少年に対し、次に掲げる行為を行ってはならない。

- 1 青少年に拒まれたにもかかわらず、当該青少年に係る児童ポルノ等（児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律（平成11年法律第52号）第2条第3項に規定する児童ポルノ又は同法第7条第2項に規定する電磁的記録その他の記録をいう。次号において同じ。）の提供を行うように求めること。
- 2 青少年を威迫し、欺き、若しくは困惑させ、又は青少年に対し対償を供与し、若しくはその供与の約束をする方法により、当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を行うように求めること。

## 令和3年度「青少年のネット利用実態調査」結果

## 1 青少年のインターネット利用機器・利用率

- 全体で9割以上の子どもたちがインターネットを利用している。  
 ○ 利用機器は、小学生・中学生ではゲーム機が最も多く、高校生ではスマートフォンが最も多い。  
 ○ 小学生も半数がスマートフォンを利用している。  
 ○ 保護者は、ほぼ全員の子どもがインターネットを利用していると認識している。

## ① 子ども回答

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		令和3 年度 n=506	令和2 年度 n=519	令和元 年度 n=474	令和3 年度 n=454	令和2 年度 n=484	令和元 年度 n=497	令和3 年度 n=494	令和2 年度 n=509	令和元 年度 n=562	令和3 年度 n=1454	令和2 年度 n=1512	令和元 年度 n=1533
1	スマートフォン	50.6	52.4	45.8	63.4	75.6	68.2	98.2	99.4	97.0	70.8	75.7	71.8
2	携帯電話	16.0	17.7	17.1	13.9	11.6	10.5	7.3	14.9	9.8	12.4	14.8	12.3
3	タブレット端末(iPad等・私物)	43.1	46.4	43.2	48.9	41.3	44.3	33.0	29.3	28.5	41.5	39.0	38.2
4	タブレット端末(学校貸与)				47.6			77.1			63.0		
5	パソコン	18.6	27.6	22.6	24.7	23.3	32.2	27.5	40.3	29.4	23.5	30.5	28.2
6	携帯音楽プレイヤー	7.1	8.7	5.9	8.1	10.5	13.5	9.1	7.3	10.0	8.1	8.8	9.8
7	ゲーム機	63.2	62.4	54.2	64.1	63.8	53.1	42.3	41.5	39.9	56.4	55.8	48.6
8	テレビ	62.3	58.4	47.3	61.5	64.0	51.5	58.9	49.9	42.5	60.9	57.3	46.9
9	インターネット利用機器はない	1.8	6.2	6.3	0.7	1.9	1.2	0.0	0.2	0.4	0.8	2.8	2.5
10	わからない	10.1	7.1	10.1	1.3	2.3	0.2	0.2	0.2	0.4	4.0	3.2	3.3
(再掲)	インターネット接続機器あり(利用率)	88.1	86.7	83.6	98.0	95.8	98.6	99.8	99.6	99.2	95.2	94.0	94.2

## ② 保護者回答

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		令和3 年度 n=432	令和2 年度 n=449	令和元 年度 n=411	令和3 年度 n=406	令和2 年度 n=411	令和元 年度 n=349	令和3 年度 n=452	令和2 年度 n=472	令和元 年度 n=507	令和3 年度 n=1290	令和2 年度 n=1330	令和元 年度 n=1267
1	スマートフォン	52.8	49.4	36.7	62.3	75.2	57.9	96.2	97.5	95.1	71.0	74.6	65.9
2	携帯電話	5.8	5.2	4.4	4.9	7.2	7.7	6.4	6.8	8.9	5.7	6.4	7.1
3	タブレット端末(iPad等・私物)	50.9	50.6	46.7	51.2	43.0	42.4	29.2	28.8	24.1	43.4	40.5	36.5
4	タブレット端末(学校貸与)	22.9			29.8			66.6			40.4		
5	パソコン	12.5	15.0	12.4	22.9	23.4	24.6	20.8	33.1	22.7	18.7	24.1	19.9
6	携帯音楽プレイヤー	0.5	1.6	2.2	3.4	5.0	7.4	5.1	4.7	7.7	3.0	3.8	5.8
7	ゲーム機	55.8	52.4	38.4	56.2	51.6	39.8	34.7	32.4	29.6	48.5	45.0	35.3
8	テレビ	37.5	37.6	21.7	26.6	24.6	16.3	26.5	21.6	11.4	30.2	27.8	16.1
9	インターネット利用機器はない	2.8	6.2	13.6	1.0	1.4	2.9	0.0	0.0	0.6	1.2	2.5	5.4
10	わからない	0.5	0.0	0.2	0.7	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2
(再掲)	インターネット接続機器あり(利用率)	96.7	93.8	86.2	98.3	98.4	96.8	99.6	99.8	99.2	98.3	97.3	94.4

## 2 青少年のスマートフォンの利用について

- 年齢があがるにつれ、自分専用のスマートフォンを利用(中学生では48.3%、高校生ではほぼ全員)している。
- スマートフォンの利用開始時期は、小学生以前から利用している中学生が55.0%、中学生以前から利用している高校生が66.6%であった。
- 前年調査と比べて、自分専用のスマートフォンを利用している中学生が大きく減少(R2:71.7%⇒R3:48.3%)している。

### ① スマートフォンの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=255	小5 n=247	小(計) n=502			
					n=447	n=492	n=1441
1	自分専用のもを利用	18.0	30.4	24.1	48.3	98.8	57.1
2	家族のもを利用	52.9	42.9	48.0	28.9	0.4	25.8
3	利用していない	22.4	25.1	23.7	22.8	0.8	15.6

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### ② スマートフォンの利用開始時期について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校
		小2	小5	小(計)		
					n=345	n=488
1	小学生より前				1.4	0.4
2	小学生				53.6	17.8
3	中学生				43.8	48.4
4	高校生					33.4

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### 【参考】令和2年度調査分

#### ① スマートフォンの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=219	小5 n=272	小(計) n=491			
					n=481	n=509	n=1481
1	自分専用のもを利用	18.7	27.6	23.6	71.7	99.4	65.3
2	家族のもを利用	55.3	46.3	50.3	17.0	0.2	22.3
3	利用していない	29.7	27.6	28.5	12.3	0.4	13.6

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

#### ② スマートフォンの利用開始時期について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校
		小2	小5	小(計)		
					n=411	n=507
1	小学生より前				1.7	0.2
2	小学生				44.3	18.5
3	中学生				54.0	45.8
4	高校生					35.5

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### 3 青少年のインターネット利用内容

- インターネット利用内容は、小学生では、「ゲーム」「動画視聴」「音楽視聴」の順に、中学生では、「動画視聴」「情報検索」「ゲーム」の順に、高校生では、「動画視聴」「SNS」「情報検索」の順に多くなっている。
- 年齢層が上がるにつれ、「SNS」の利用率が顕著に増加している。
- 中学生・高校生の半数近くが、「ビデオ通話やWeb会議などでのリアルタイムのやりとり」を利用している。
- 利用しているソーシャルメディアは、中学生では昨年度同様に「YouTube」「LINE」「Tic Tok」の順に多く、高校生でも昨年度同様に「LINE」「YouTube」「Instagram」の順に多くなっている。
- 高校生は、中学生と比較して、「Instagram」「SNOW」「Twitter」「Zenly」の利用が大きく増えており、「BoxFresh・Peing」等匿名質問アプリも5人に1人は利用している。
- スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに「分からないことを調べる、情報収集」「家族や友達との連絡手段」「趣味を楽しむ」「家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ」が上位であり、「暇つぶし」で利用している生徒も6割程度いる。
- SNS利用時、中学生の約7割、高校生の約9割が、「他人の悪口を書いたり侮辱しない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」等に気をつけている。
- SNS利用時、「特に気をつけていない」という子どももいる。

#### ① 利用するサービス(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=251	小5 n=246	小(計) n=497			
					n=451	n=494	n=1442/ (10、13、14 n=945)
1	SNS	19.1	40.2	29.6	66.7	92.3	62.7
2	動画視聴	68.9	85.8	77.3	89.4	93.9	86.8
3	音楽視聴	38.2	63.0	50.5	61.6	76.7	63.0
4	ゲーム	71.7	81.3	76.5	72.1	65.8	71.4
5	情報検索	36.3	76.0	55.9	74.1	80.6	70.0
6	ニュース	26.3	37.8	32.0	23.3	25.3	27.0
7	地図・ナビゲーション	25.1	21.5	23.3	20.0	34.0	25.9
8	電子書籍(読書)	24.3	18.7	21.5	22.8	38.1	27.6
9	ショッピング・オークション	16.7	8.5	12.7	11.5	25.1	18.6
10	お小遣いサイト				1.1	2.2	1.7
11	勉強のページやアプリ	27.9	41.5	34.6	9.5	20.6	15.3
12	動画をアップする	4.8	4.5	4.6	17.7	35.4	27.0
13	オンラインゲーム				44.6	38.3	41.3
14	ビデオ通話、Web会議など でのリアルタイムのやりとり				39.0	47.8	43.6

② 利用しているソーシャルメディアの種類(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=451	高校 n=494	全体 n=945
		小2	小5	小(計)			
1	LINE				67.8	97.2	83.2
2	Facebook				6.0	8.5	7.3
3	Twitter				28.6	56.1	43.0
4	Instagram				41.2	81.8	62.4
5	SNOW				25.7	56.7	41.9
6	17LIVE				0.7	0.6	0.6
7	YouTube				91.8	94.5	93.2
8	ツイキャス				6.4	12.3	9.5
9	MixChannel				0.4	4.5	2.5
10	ニコニコ動画・生放送				8.4	15.6	12.2
11	Tik Tok				56.1	67.8	62.2
12	Zenly				8.9	35.6	22.9
13	+メッセージ				9.5	19.6	14.8
14	Discord				14.4	16.6	15.6
15	カカオトーク				0.7	3.0	1.9
16	Skype				2.2	3.0	2.6
17	BoxFresh・Peing等 匿名質問アプリ				9.8	18.6	14.4
18	その他				1.8	1.6	1.7

③スマホ、ネットやアプリ等を利用する理由 (子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=451	高校 n=494	全体 n=945
		小2	小5	小(計)			
1	分からないことを調べる、情報収集				80.9	90.5	85.9
2	家族や友達との連絡手段				67.8	95.1	82.1
3	家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ				50.8	75.9	63.9
4	自分の活動を多くの人に知ってもらう				3.8	8.3	6.1
5	趣味を楽しむ				64.5	76.3	70.7
6	スケジュールを調整する				3.5	13.0	8.5
7	みんながやっているから				13.5	13.2	13.3
8	暇つぶし				58.5	67.2	63.1
9	お小遣いを稼ぐため				0.9	2.4	1.7
10	学校の宿題などをするため				13.7	27.3	20.8

## ④SNS利用時に気をつけていること(子ども回答) (令和2年度から掲載)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=451	高校 n=494	全体 n=945
		小2	小5	小(計)			
1	他人の悪口を書いたり侮辱しない				73.6	90.7	82.5
2	自分や他人の個人情報を書き込まない				73.8	88.5	81.5
3	他人の写真を勝手に投稿したり、拡散したりしない				66.7	78.9	73.1
4	他人の著作物を無断で使用しない				65.9	72.5	69.3
5	他人のIDやパスワードを利用しない				63.9	73.3	68.8
6	特に気をつけていない				8.4	4.9	6.6

## 4 青少年のインターネット利用時間

- 平日に2時間以上ネットを利用しているのは、小学生32.9%、中学生46.4%、高校生61.0%であり、小学生は増加、中学生と高校生は減少している。
- 小学生は、昨年度に比べ「使わない・30分未満」が減少し、「30分～1時間未満」以上の項目が増加しており、長時間化が顕著である。(子ども回答)
- 中学生と高校生は、昨年度に比べ、3時間以上の利用が減少に転じ、利用時間の減少傾向が見られる。(子ども回答)
- 保護者が把握している利用時間と実際の子どもの利用時間に差が見られ、2時間以上の利用では、小学生で11.2ポイント、中学生で11.4ポイント、高校生で6.6ポイントの差がある。(保護者の把握している時間の方が少ない。)

### ① 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=251	小5 n=246	小(計) n=497			
1	使わない	21.1	4.5	12.9	2.2	0.2	5.2
2	30分未満	17.5	7.7	12.7	8.4	1.4	7.5
3	30分～1時間未満	27.1	19.9	23.5	15.5	6.9	15.3
4	1時間～2時間未満	9.6	27.6	18.5	27.7	30.0	25.3
5	2時間～3時間未満	7.2	15.4	11.3	24.6	31.2	22.3
6	3時間～4時間未満	6.4	13.4	9.9	8.9	16.2	11.7
7	4時間以上	11.6	11.8	11.7	12.9	13.6	12.7
(再掲)	2時間以上利用	25.2	40.6	32.9	46.4	61.0	46.7

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### 【参考】令和2年度調査分 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=238	小5 n=276	小(計) n=514			
1	使わない	21.4	10.5	15.6	3.5	0.2	6.5
2	30分未満	26.1	10.9	17.9	4.3	1.0	7.8
3	30分～1時間未満	21.8	23.2	22.6	14.7	8.4	15.3
4	1時間～2時間未満	11.8	22.8	17.7	26.9	24.4	22.9
5	2時間～3時間未満	10.1	12.3	11.3	24.4	29.5	21.6
6	3時間～4時間未満	4.2	7.2	5.8	10.3	16.7	10.9
7	4時間以上	4.6	13.0	9.1	15.9	19.8	14.9
(再掲)	2時間以上利用	18.9	32.5	26.2	50.6	66.0	47.4

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② 平日の利用時間(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=420	n=402	n=452	n=1274
1	使わない	9.3	4.0	0.4	4.5
2	30分未満	16.9	9.0	2.0	9.1
3	30分～1時間未満	23.3	16.7	10.8	16.8
4	1時間～2時間未満	32.4	35.8	32.1	33.4
5	2時間～3時間未満	15.0	20.1	30.1	22.0
6	3時間～4時間未満	4.3	8.5	10.8	7.9
7	4時間以上	1.9	4.2	9.7	5.4
8	わからない	0.5	2.2	3.8	2.2
(再掲)	2時間以上利用	21.7	35.0	54.4	37.5

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和2年度調査分 平日の利用時間(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=446	n=421	n=472	n=1339
1	使わない	14.1	2.4	0.2	5.5
2	30分未満	16.6	8.1	1.7	8.7
3	30分～1時間未満	26.9	17.3	8.3	17.3
4	1時間～2時間未満	27.6	35.2	26.3	29.5
5	2時間～3時間未満	10.3	22.1	31.4	21.4
6	3時間～4時間未満	2.9	7.6	15.9	9.0
7	4時間以上	1.6	6.2	11.9	6.6
8	わからない	0.4	1.2	4.9	2.2
(再掲)	2時間以上利用	15.2	37.1	64.1	39.2

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

## 5 青少年のインターネット利用による生活の変化

- 子どもと保護者を比較すると、子どもの方がインターネット利用により「友人関係が良好になった」「友達が増えた」「分からないことを自分で調べるようになった」などと良い(プラス)傾向を示す回答が多い。
- 「使いすぎ・依存の傾向がある」と回答したのは、中学生が21.3%、高校生が36.8%で、保護者のうち小学生が39.8%、中学生が36.1%、高校生が41.8%で、保護者の方がインターネット利用時間について課題意識を持っている。
- インターネット利用により、「生活は特に変わりはない」が昨年度に比べ、子どもと保護者ともに減少し、インターネット利用が生活に変化をもたらしている。

### ① 子ども回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=451	高校 n=494	全体 n=945
		小2	小5	小(計)			
1	家族のコミュニケーションが増えた				22.2	21.9	22.0
2	家族のコミュニケーションが減った				11.8	11.9	11.9
3	成績が上がった				6.7	5.5	6.0
4	成績が下がった				16.6	21.3	19.0
5	睡眠不足になった				18.0	21.7	19.9
6	目が悪くなった				25.7	28.9	27.4
7	本を読まなくなった				14.0	20.2	17.2
8	テレビを見なくなった				24.4	36.4	30.7
9	友人関係が良好になった				36.6	36.8	36.7
10	友人関係を気にするようになった				10.2	14.4	12.4
11	友達が増えた				39.9	50.4	45.4
12	友達が減った				0.0	0.4	0.2
13	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになる時がある				7.5	11.9	9.8
14	勉強に集中できない				13.3	19.0	16.3
15	使いすぎ・依存の傾向がある				21.3	36.8	29.4
16	分からないことを自分で調べるようになった				55.0	67.2	61.4
17	特に変わりはない				16.4	7.5	11.7
18	わからない				2.7	1.4	2.0

## ② 保護者回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=420	n=402	n=452	n=1274
1	家族のコミュニケーションが増えた	9.0	12.2	15.9	12.5
2	家族のコミュニケーションが減った	11.2	16.7	21.7	16.6
3	成績が上がった	0.5	3.0	1.8	1.7
4	成績が下がった	3.6	15.2	23.5	14.3
5	睡眠不足になった	10.7	20.6	33.0	21.7
6	目が悪くなった	17.6	28.4	29.6	25.3
7	本を読まなくなった	19.5	16.9	19.0	18.5
8	テレビを見なくなった	22.9	32.1	41.4	32.3
9	友人関係が良好になった	7.1	13.2	13.9	11.5
10	友人関係を気にするようになった	2.1	4.2	8.6	5.1
11	友達が増えた	4.5	10.2	16.6	10.6
12	友達が減った	0.2	0.7	0.4	0.5
13	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになることがある	3.1	4.7	7.3	5.1
14	勉強に集中できない	13.8	15.4	24.6	18.1
15	使いすぎ・依存の傾向がある	39.8	36.1	41.8	39.3
16	分からないことを自分で調べるようになった	23.6	37.8	36.7	32.7
17	特に変わりはない	22.4	16.4	11.3	16.6
18	わからない	1.7	2.0	2.4	2.0

## 6 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談

- 子ども・保護者ともに、約9割がトラブルの経験はないと回答しているが、保護者の方がその割合は多い。  
 ○ トラブルの内容のうち、子どもは、「悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ」、「SNSなどやりとりで嫌な思いをした」が多い。  
 ○ 小学生は、昨年度に比べトラブルが増加(昨年度:トラブルの経験はない89%)している。

### ① ネット利用時の問題やトラブル(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=445	高校 n=493	全体 中高n=938/ 小中高n=1434
		小2 n=251	小5 n=245	小(計) n=496			
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	2.4	4.1	3.2	2.7	2.8	2.9
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	0.8	1.6	1.2	0.7	0.8	0.9
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	0.8	1.6	1.2	1.8	3.2	2.1
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ				0.2	0.6	0.4
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た				0.9	0.4	0.6
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	2.8	2.0	2.4	1.3	1.0	1.6
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした				0.2	0.0	0.1
8	知らない人やお店等からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた	1.2	2.9	2.0	1.1	2.6	2.0
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)				0.7	0.0	0.3
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)				0.2	0.8	0.5
11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDが使われた等)				0.4	0.8	0.6
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた				0.0	0.0	0.0
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	2.0	0.4	1.2	1.1	0.8	1.0
14	トラブルの経験はない	81.4	84.3	82.8	89.6	90.7	87.6

### ② ネット利用時の問題やトラブル(保護者回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=424	n=397	n=442	n=1263
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	2.4	1.3	3.4	2.4
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	1.7	0.3	0.2	0.7
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	1.2	1.0	3.4	1.9
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ	0.7	0.8	0.2	0.6
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た	0.0	0.3	0.2	0.2
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	0.2	0.8	0.9	0.6
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした	0.0	0.0	0.0	0.0
8	自分が知らない人やお店等からメッセージやメールが送られてきた	0.2	0.5	1.6	0.8
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)	0.0	0.0	0.0	0.0
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)	0.0	0.5	0.0	0.2
11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDが使われた等)	0.0	0.5	0.2	0.2
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた	0.0	0.5	0.2	0.2
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	0.0	0.0	0.0	0.0
14	トラブルの経験はない	96.9	95.0	91.6	94.5

- ネット利用時の相談先については、家族や友人が多い。
- 「消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察」、「質問・相談サイト」は前年度ともに0%であったが、今年度は相談先として利用が見られる。
- 「トラブルはあるが誰にも相談しなかった」子どもが全体で23.1%いる。

### ③ ネット利用時の相談先(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=35	高校 n=38	全体 n=147 (6~7:n=73)
		小2 n=38	小5 n=36	小(計) n=74			
1	家族に相談した	55.3	55.6	55.4	34.3	47.4	48.3
2	学校の先生に相談した	10.5	16.7	13.5	22.9	23.7	18.4
3	友人に相談した	23.7	30.6	27.0	45.7	55.3	38.8
4	ネット上の友達に相談した	7.9	8.3	8.1	17.1	21.1	13.6
5	知り合いの大人に相談した	5.3	0.0	2.7	2.9	2.6	2.7
6	消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察				2.9	0.0	1.4
7	「Yahoo!知恵袋」や「教えて!goo」などの質問・相談サイト				5.7	2.6	4.1
8	トラブルはあるが誰にも相談しなかった	26.3	27.8	27.0	20.0	18.4	23.1

- 相談しなかった理由は、全体では「自己解決した」が最も多い。
- 中学生では、「相談するのが恥ずかしかった」も同数であり、隠したがる傾向も見られる。

### ④ トラブル時に誰にも相談しなかった理由(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=7	高校 n=7	全体 n=14
		小2	小5	小(計)			
1	相談先がわからなかった				28.6	14.3	21.4
2	自己解決した				42.9	42.9	42.9
3	相談するのが恥ずかしかった				42.9	14.3	28.6
4	相談することで問題が大きくなると考えた				28.6	14.3	21.4

- 約3割の子どもが「解決していない」「分からない」と回答しており、トラブルの解決には至っていない。

### ⑤ トラブルは解決しましたか(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校 n=35	高校 n=38	全体 n=147
		小2 n=38	小5 n=36	小(計) n=74			
1	解決した	36.8	63.9	50.0	85.7	78.9	66.0
2	解決していない	26.3	13.9	20.3	5.7	2.6	12.2
3	分からない	26.3	22.2	24.3	8.6	21.1	19.7

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

- 「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」子どもは、中学生32.4%、高校生52.8%であった。(子ども回答)
- 「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生3.1%(14人)、高校生5.3%(26人)、「異性に会った」が0.9%(4人)、高校生2.2%(11人)であったが、「会ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生6.9%(31人)高校生6.1%(30人)にのぼった。(子ども回答)
- 会ったことがない人とやりとりすることについて、「会ったことがない人と実際に会うのは危険だと思う」が、中学生58.8%高校生64.6%で、約60%の子どもがリスク管理出来ている。一方で、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生6.6%、高校生7.9%と少なからず回答している。(子ども回答)
- また、「会ったことがない人と、ネットでやり取りしたり、実際に会うのは危険だと思う」と感じる割合は、子どもに比べて保護者が著しく高い。

⑤-1 ネットで知り合った人とのやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校		中学校 n=451		高校 n=494		全体 n=945	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした			146	32.4	261	52.8	407	43.1
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った			14	3.1	26	5.3	40	4.2
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った			4	0.9	11	2.2	15	1.6
4	会ったことはないが、会いたいと思った			31	6.9	30	6.1	61	6.5
5	このような経験はない			297	65.9	216	43.7	513	54.3

⑤-2 子どもがネットで知り合った人とのやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校 n=432		中学校 n=406		高校 n=452		全体 n=1290	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした	21	4.9	52	12.8	90	19.9	163	12.6
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った	1	0.2	7	1.7	8	1.8	16	1.2
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った	1	0.2	1	0.2	0	0.0	2	0.2
4	会ったことはないが、会いたいと思った	1	0.2	4	1.0	11	2.4	16	1.2
5	このような経験はない	392	90.7	313	77.1	310	68.6	1015	78.7
6	わからない	7	1.6	34	8.4	55	12.2	96	7.4

⑥-1 会ったことがない人とやりとりすること(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校		中学校 n=454		高校 n=494		全体 n=948	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う			88	19.4	86	17.4	174	18.4
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う			30	6.6	39	7.9	69	7.3
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う			163	35.9	146	29.6	309	32.6
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う			267	58.8	319	64.6	586	61.8
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う			12	2.6	26	5.3	38	4.0
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う			14	3.1	34	6.9	48	5.1
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う			4	0.9	5	1.0	9	0.9
8	わからない			66	14.5	44	8.9	110	11.6

⑥-2 子どもが会ったことがない人とやりとりすること(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校 n=432		中学校 n=406		高校 n=452		全体 n=1290	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う	8	1.9	11	2.7	19	4.2	38	2.9
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う	7	1.6	8	2.0	8	1.8	23	1.8
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う	320	74.1	302	74.4	289	63.9	911	70.6
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う	339	78.5	319	78.6	370	81.9	1028	79.7
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う	57	13.2	49	12.1	43	9.5	149	11.6
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う	12	2.8	16	3.9	13	2.9	41	3.2
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う	0	0.0	4	1.0	1	0.2	5	0.4
8	わからない	15	3.5	14	3.4	16	3.5	45	3.5

- 「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、「送ったことがある」は中学生・高校生ともに0人であった(子ども回答)が、同じ問いに保護者は、中学生4人、高校生1人の合計5人が「送ったことがある」と回答している。また、小学生の保護者も、4人が「送ったことがある」と回答している。
- 「写真を要求されたことはあるが送っていない」子どもは、中学生11人、高校生15人の合計26人いるが、認識している保護者は合わせて3人と極めて少ない。
- いわゆる「自撮り」によりその後性的被害に遭うなどの事件に巻き込まれることを知っているかについて、昨年度に比べて「知っている」割合は増加(昨年度:66.6%)しているものの、中学生は34.4%、高校生は11.5%が「知らない」と回答しており、「自撮り」被害やその後性的被害に遭う危険性を認識していない子どももいる。
- 保護者でも、10%程度が自撮りによる性的被害を認識していない。

⑦-1 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校		中学校 n=454		高校 n=494		全体 n=948	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある			0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	写真を要求されたことはあるが送っていない			11	2.4	15	3.0	26	2.7
3	ない			442	97.4	474	96.0	916	96.6

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和2年度調査分 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校		中学校 n=492		高校 n=560		全体 n=1052	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある			3	0.6	6	1.2	9	0.9
2	写真を要求されたことはあるが送っていない			9	1.9	28	5.5	37	3.7
3	ない			472	97.5	471	93.3	943	95.3

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑦-2 子どもが裸や下着姿の写真のやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校 n=425		中学校 n=408		高校 n=452		全体 n=1285	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある	4	0.9	4	1.0	1	0.2	9	0.7
2	写真を要求されたことはあるが送っていない	0	0.0	2	0.5	1	0.2	3	0.2
3	ない	416	97.9	376	92.2	409	90.5	1201	93.5
4	わからない	5	1.2	26	6.4	41	9.1	72	5.6

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和2年度調査分 裸や下着姿の写真のやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校 n=445		中学校 n=421		高校 n=473		全体 n=1339	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある	3	0.7	2	0.5	0	0.0	5	0.4
2	写真を要求されたことはあるが送っていない	0	0.0	2	0.5	2	0.4	4	0.3
3	ない	441	99.1	397	94.3	433	91.5	1271	94.9
4	わからない	1	0.2	20	4.8	38	8.0	59	4.4

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑧-1 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(子ども回答) 単位(人/%)

番号	内 容	小学校		中学校 n=454		高校 n=494		全体 n=948	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	知っている			291	64.1	429	86.8	720	75.9
2	知らない			156	34.4	57	11.5	213	22.5

⑧-2 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(保護者回答) 単位(人/%)

番号	内 容	小学校 n=410		中学校 n=399		高校 n=443		全体 n=1252	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	知っている	379	92.4	363	91.0	405	91.4	1147	91.6
2	知らない	31	7.6	36	9.0	38	8.6	105	8.4

## 7 フィルタリングの利用状況等

- フィルタリングを利用しているのは、全体で47.6%であり、令和2年度調査から2.9ポイント減少している。
- 使用するフィルタリングは、携帯電話事業者が提供するものが一番多く、アプリ対応のものが続いている。
- 保護者の「子どものネット利用で気をつけていること」は、「家庭でルールを設ける」67.1%が一番多く、続いて、「子どもの使い方に興味を持つ」が57.9%、「子どもの使い方を明細（金額・時間）や閲覧履歴で把握」が50.3%であった。
- 「特に気をつけていることはない」保護者が3.9%いる。

### ① フィルタリングの利用状況について（保護者回答）

単位（%）

番号	内 容	小学校			中学校			高校			全体		
		令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
		n=427	n=347	n=295	n=401	n=369	n=298	n=452	n=469	n=496	n=1280	n=1185	n=1089
1	利用している	37.5	48.7	32.5	42.6	51.2	47.0	61.5	51.4	58.5	47.6	50.5	48.3
2	利用していない	28.6	34.6	38.6	26.2	30.9	32.6	22.1	29.6	27.0	25.5	31.5	31.7
3	利用していたが解除した	0.9	1.2	2.0	4.5	7.3	4.0	7.1	8.5	5.6	4.2	6.0	4.2
4	わからない	13.6	18.2	23.4	12.5	12.5	17.1	8.6	11.3	9.7	11.5	13.7	15.4

注：数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### ② フィルタリングの種類（保護者回答）

単位（%）

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=160	n=171	n=278	n=609
1	携帯電話事業者が提供するフィルタリング	60.0	76.0	86.3	76.5
2	Wi-Fi等の無線LAN対応フィルタリング	19.4	13.5	6.1	11.7
3	アプリ対応フィルタリング	31.9	24.6	11.5	20.5
4	よくわからない	8.8	7.0	4.3	6.2

### ③ 青少年のインターネット利用で気をつけていること（監督方法）

単位（%）

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=432	n=406	n=452	n=1290
1	フィルタリング利用など、有害サイトへのアクセス制限	42.4	42.9	49.1	44.9
2	利用について家庭でルールを設ける	76.2	68.7	56.9	67.1
3	子どもがどのような使い方をしているか関心をもつ	55.1	62.3	56.6	57.9
4	インターネット利用のマナーや危険性を子どもと話し合う	31.3	31.0	29.4	30.5
5	子どもの使い方を明細（金額・時間）や閲覧履歴で把握	61.8	51.5	38.3	50.3
6	個人情報やパスワード等のプライバシー保護対策	38.7	31.8	36.7	35.8
7	ウイルス対策や不正アクセス対応	23.8	25.1	24.6	24.5
8	気をつけていることはない	0.7	2.7	8.0	3.9

## 8 家庭でのルール

- 家庭でのルールについて、「ルールあり」と回答した保護者、子どもはともに昨年度より増加している。
- しかし、「ルールあり」と回答した保護者は75.2%いるものの、子どもは63.0%にとどまり、保護者と子どもの「ルールあり」の差は12.2ポイントあり、認識が異なっている。
- 「家庭でのルールがない」と回答した割合は、子ども、保護者とも昨年と比較して増えている。  
特に、高校生が増加しており、半数以上が「家庭でのルールがない」と回答している。
- ルールの内容は「利用する時間」が保護者・子どもともに最も多く、「利用する内容」が続いている。
- ルールが守られているかについては、子どもの54.9%、保護者の41.4%が「守られている」と回答し、昨年度に比べ子どもは微増しているが、保護者は微減となっている。
- 「あまり守られていない」、「ほとんど守られていない」と回答している保護者も18.5%いる。
- 保護者が「ルールを決めていない」理由としては、半数近い48.2%が、「子どもに任せておいて大丈夫」をあげており、続いて34.1%が「ルールを作っても守らない」と回答している。

### ① 家庭のルールの有無(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
		n=251	n=246	n=497	n=448	n=486	n=1431
1	ルールあり	78.9	80.1	79.5	61.8	47.3	63.0
2	ルールなし	21.1	19.9	20.5	38.2	52.7	37.0

### 【参考】令和2年度調査分 家庭のルールの有無(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
		n=223	n=270	n=493	n=470	n=502	n=1465
1	ルールあり	79.8	68.5	73.6	57.2	56.6	62.5
2	ルールなし	20.2	31.5	26.4	42.8	43.4	37.5

### ② 家庭のルールの有無(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=418	n=392	n=442	n=1252
1	ルールあり	86.4	78.1	62.0	75.2
2	ルールなし	13.6	21.9	38.0	24.8

### 【参考】令和元年度調査分 家庭のルールの有無(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=431	n=416	n=468	n=1315
1	ルールあり	82.1	77.9	56.8	71.8
2	ルールなし	17.9	22.1	43.2	28.2

③ ルールの内容(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=198	小5 n=197	小(計) n=395			
					n=277	n=230	n=902
1	利用する時間	80.8	81.2	81.0	73.6	56.5	72.5
2	利用する金額	6.1	10.7	8.4	10.8	23.9	13.1
3	利用する場所	22.2	24.9	23.5	18.8	19.1	21.0
4	利用する内容	13.1	34.0	23.5	30.7	33.5	28.3
5	成績が下がったら使えない	4.5	8.6	6.6	25.6	22.6	16.5

④ ルールの内容(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=361	n=306	n=274	n=941
1	利用する時間	93.9	80.1	59.1	79.3
2	利用する金額	14.1	18.6	36.1	22.0
3	利用する場所	27.7	34.0	25.5	29.1
4	利用する内容	45.4	45.4	46.4	45.7
5	成績が下がったら使えない	11.4	33.0	31.8	24.3

⑤ ルールが守られているか(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=198	小5 n=197	小(計) n=395			
					n=277	n=230	n=902
1	守られている	57.6	59.9	58.7	52.0	51.7	54.9
2	少し守られている	29.8	29.9	29.9	32.5	30.4	30.8
3	あまり守られていない	7.6	6.1	6.8	9.7	9.6	8.4
4	ほとんど守られていない	3.5	2.0	2.8	1.8	2.6	2.4

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑥ ルールが守られているか(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=361	n=306	n=274	n=941
1	守られている	43.8	38.9	41.2	41.4
2	少し守られている	44.9	41.2	35.4	40.9
3	あまり守られていない	10.5	16.0	17.2	14.2
4	ほとんど守られていない	2.2	4.6	6.6	4.3

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

## ⑦ ルールを決めていない理由(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=57	n=86	n=168	n=311
1	子どもに任せておいて大丈夫	22.8	46.5	57.7	48.2
2	トラブルになると思わない	7.0	8.1	8.3	8.0
3	ルールを作っても守らない	28.1	34.9	35.7	34.1
4	ルールづくりが分からない	5.3	2.3	8.9	6.4
5	家庭内ルールを作ると保護者も守る必要がでてる	5.3	2.3	3.0	3.2